

農業生産資材審議会
種苗分科会説明会資料

重要な形質の見直しについて

平成20年2月6日

農林水産省 生産局 種苗課

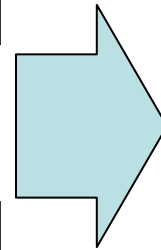
種 苗 法 の 目 的

品種登録制度

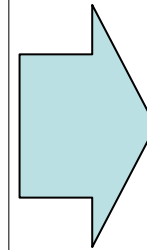
新品種を育成した者に、登録により
一定の権利を与えることを通じて、品
種の育成を振興

指定種苗制度

種苗の表示に関する規定を定め、種
苗の流通を適正化



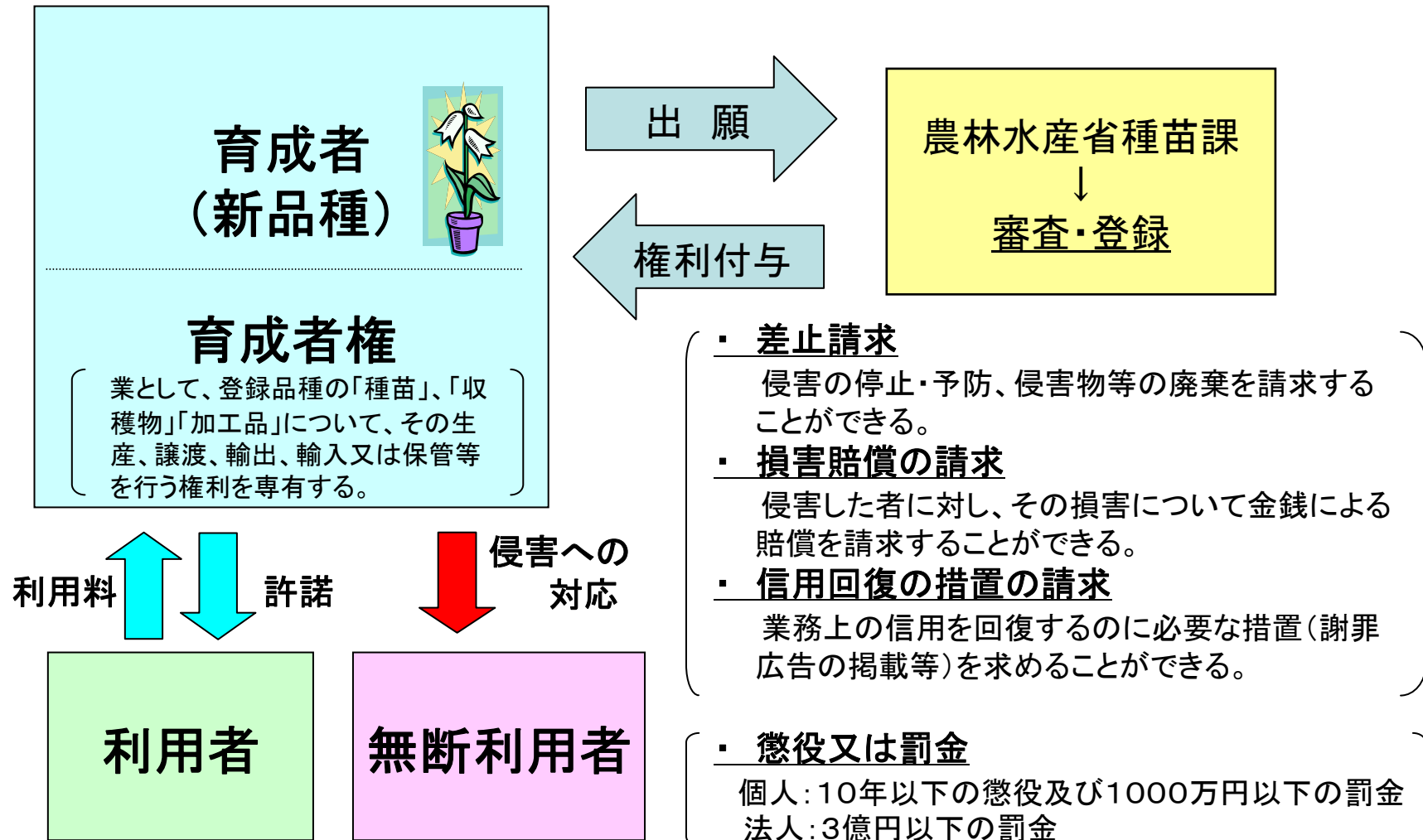
農
林
水
産
業
の
発
展



国
民
生
活
の
向
上

品種保護制度の概要

一種苗法による品種登録と育成者権の付与・保護



保護対象植物

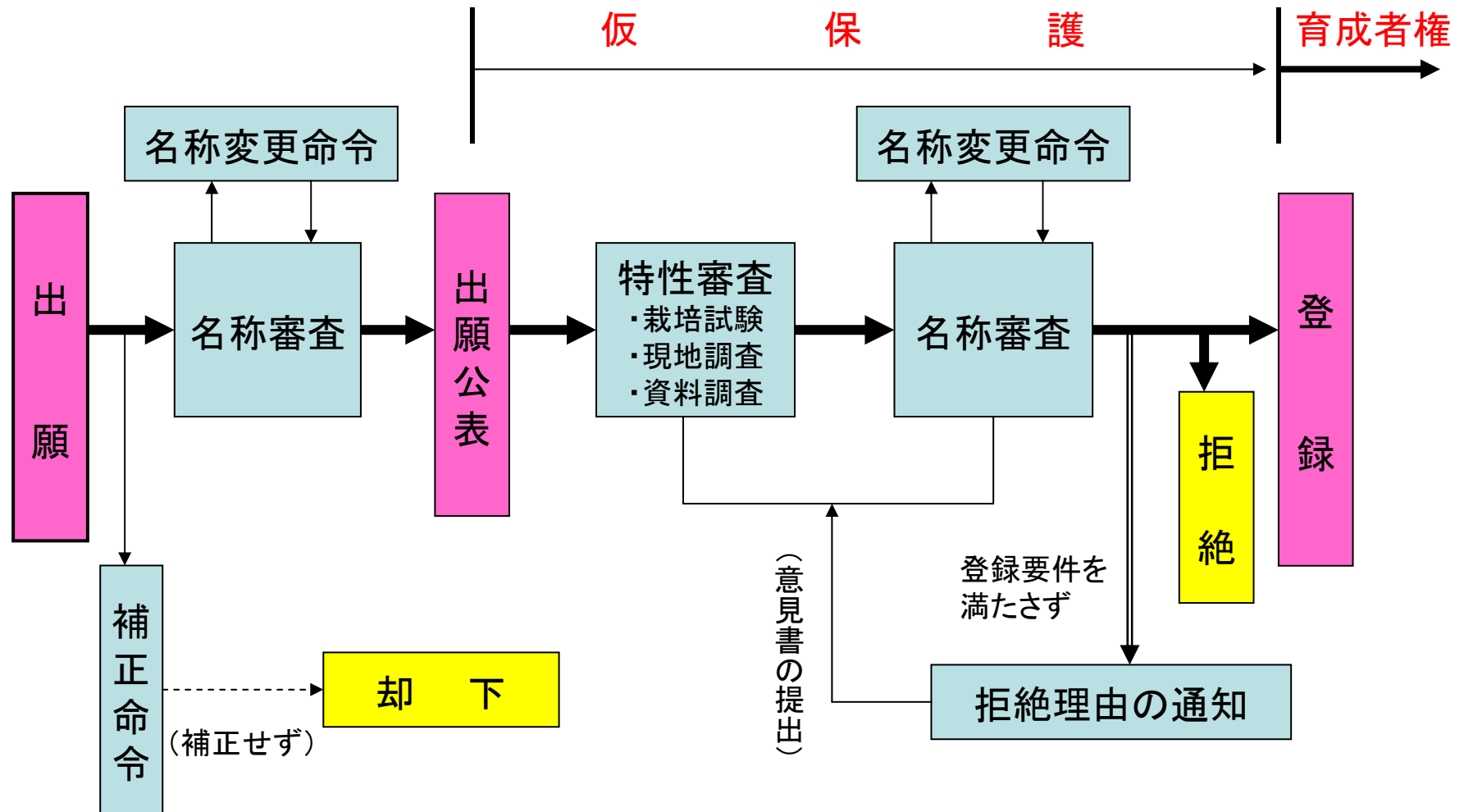
農林水産物の生産のために栽培される**全植物**

- 種子植物
- しだ類
- せんたい類
- 多細胞の藻類
- 政令で指定された植物(きのこ32種)

育成者権の存続期間

25年(果樹等の永年性植物は30年)

審査の手続き



品種登録の要件

• 区別性 (Distinctness)

- 既存品種と**重要な形質**(形状、色、耐病性等)に係る特性(丸い、赤い、強い等)の全部又は一部によって明確に区別できること

• 均一性 (Uniformity)

- 同一世代でその**重要な形質**に係る特性の全部が十分類似していること(播いた種子から同じものができる)

• 安定性 (Stability)

- 増殖後も**重要な形質**に係る特性の全部が安定していること(何世代増殖を繰り返しても同じものができる)

• 未譲渡性 (Novelty)

- 日本国内において出願日から1年遡った日(外国での譲渡は、日本での出願日から4年(果樹等の永年性植物は6年)遡った日)より前に出願品種の種苗や収穫物を業として譲渡していないこと

• 名称の適切性 (Suitability of denomination)

- 品種の名称が既存の品種や登録商標と紛らわしいものでないこと等。

重要な形質とは

重要な形質は、**品種登録の要件である区別性、均一性、安定性の審査に用いられ**、品種登録の適否を判定するための重要な要素。

我が国では、UPOVの指針に基づき、「重要な形質」を具体化したものを「審査基準」として使用。

○UPOVの特性審査(区別性、均一性、安定性)のための一般指針

＜特性審査に用いる形質の要件＞

- ①一定の遺伝子型又はその組合せの結果発現するもの
- ②ある環境条件の下で、十分な一貫性と再現性があるもの
- ③品種間で区別性を確定できる十分な違いがあるもの
- ④詳細な定義及び認識が可能なもの
- ⑤均一性の要件を満たすもの
- ⑥安定性の要件を満たすもの

審査基準(例)

バーベナの重要な形質

区 分	重 要 な 形 質
その他の一、二年草	一 草型及び草丈 二 茎の太さ、茎の色、茎の毛の多少、とげの有無、分枝性、節間長、葉序、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の厚さ及び葉の毛の多少 三 花の向き、花形、花の大きさ、花色、花弁の形、雌雄ずいの形、雌雄ずいの数、花柄の長さ及び花柄の太さ 四 開花期、耐寒性、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性



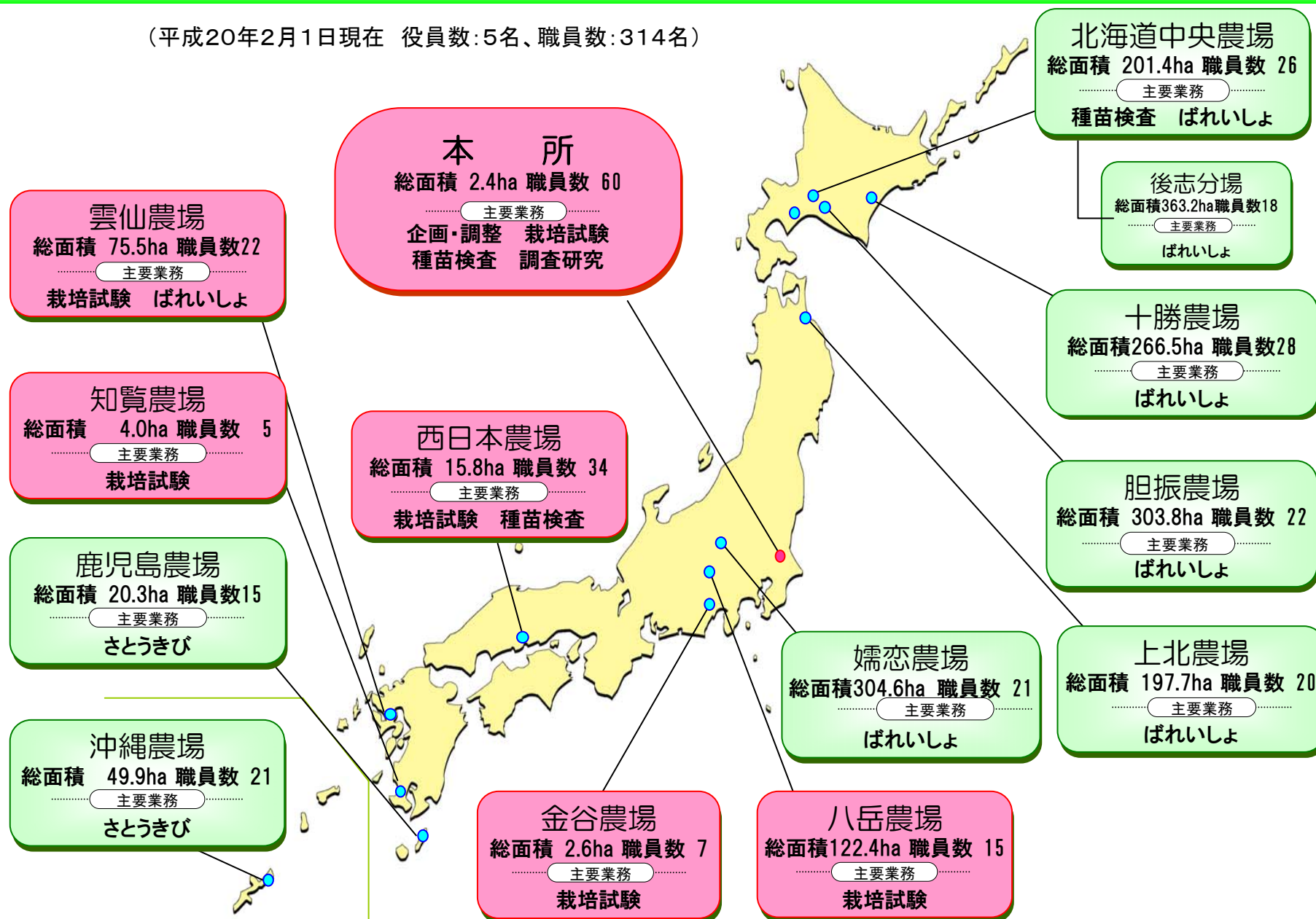
バーベナの審査基準(一部抜粋)

*は必須形質

重要な形質	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備考
草型	*1. 草姿	茎の地表に対する角度	観察	直立 中間 ほふく	3 5 7	V. bonariensis ダンネブロック V. peruviana	
	*2. 株の広がり	株の直径	測定	小(30cm未満) 中(30-60) 大(60cm以上)	3 5 7		
草丈	*3. 株の高さ	地表より最高部までの高さ	測定	極低(5cm未満) 低(5-15) 中(15-25) 高(25-50) 極高(50以上)	1 3 5 7 9	V. bonariensis	
茎の太さ	*4. 茎径	主茎中央部の太さ	測定	細(2mm未満) 中(2-5) 太(5mm以上)	3 5 7	ラブリカーペットパープル V. bonariensis	
葉形	*12. 葉身の形	止め葉の下の葉の葉身の形	観察 図-1	I型 II型 III型 IV型 V型	1 2 3 4 5	ラブリカーペットホワイト アメジスト ダンネブロック V. bonariensis V. lasiostachys	
	*13. 切れ込みの有無	止め葉の下の葉の葉身の切れ込みの有無	観察	無 有	1 9	ダンネブロック ラブリカーペットホワイト	
	*14. 切れ込みの程度	止め葉の下の葉の葉身の切れ込みの程度	観察 図-2	浅 中 深	3 5 7	V. goodingii ラブリカーペットレッド ラブリカーペットホワイト	

(独)種苗管理センターの農場等の配置状況

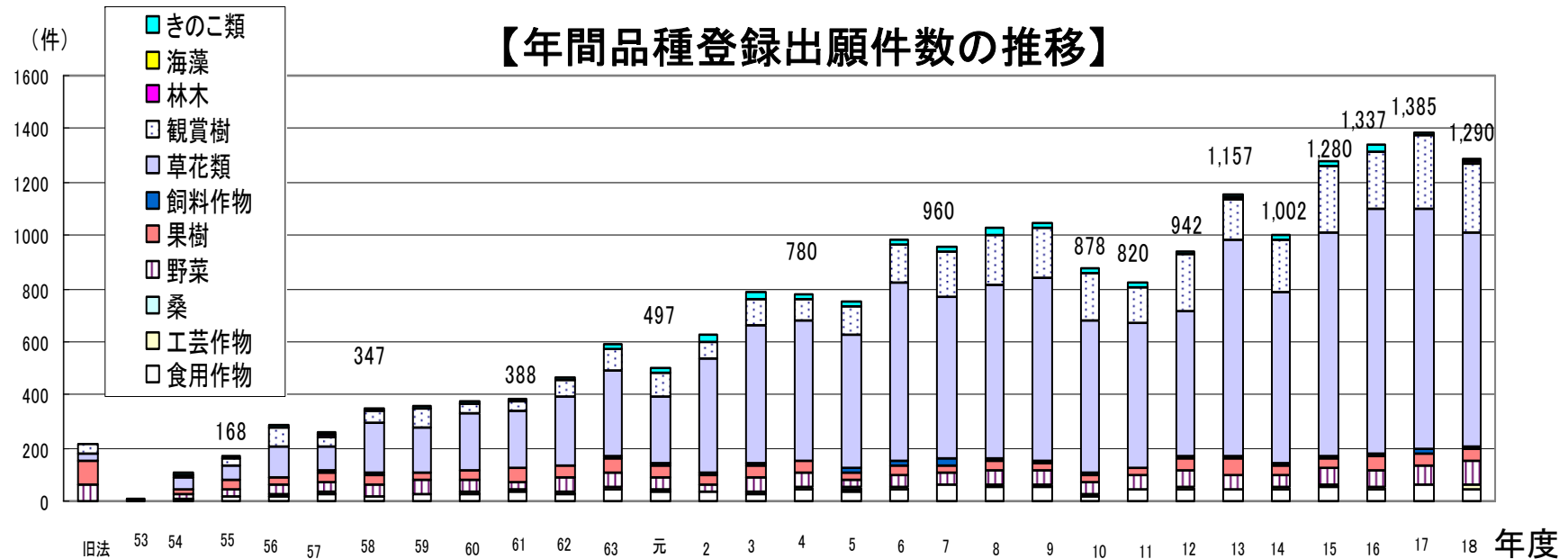
(平成20年2月1日現在 役員数:5名、職員数:314名)



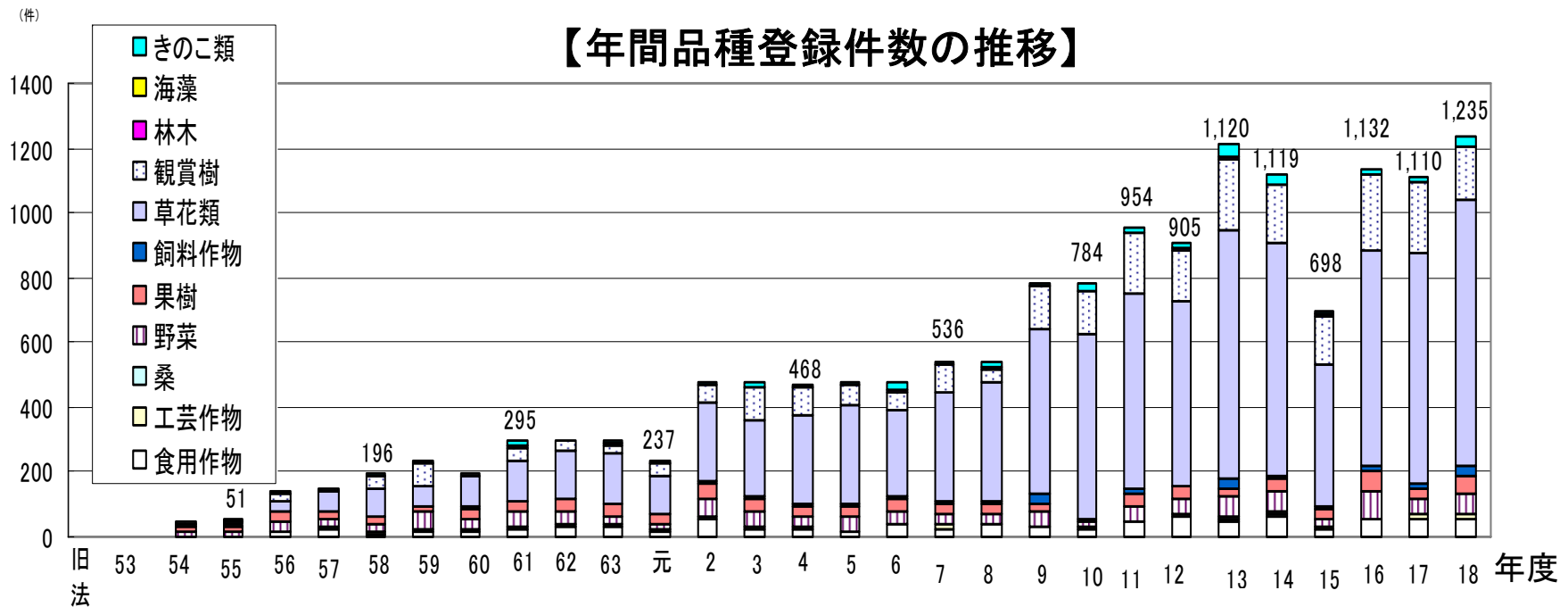
(注:ほかに再雇用職員3名)

新品種の出願・登録の状況

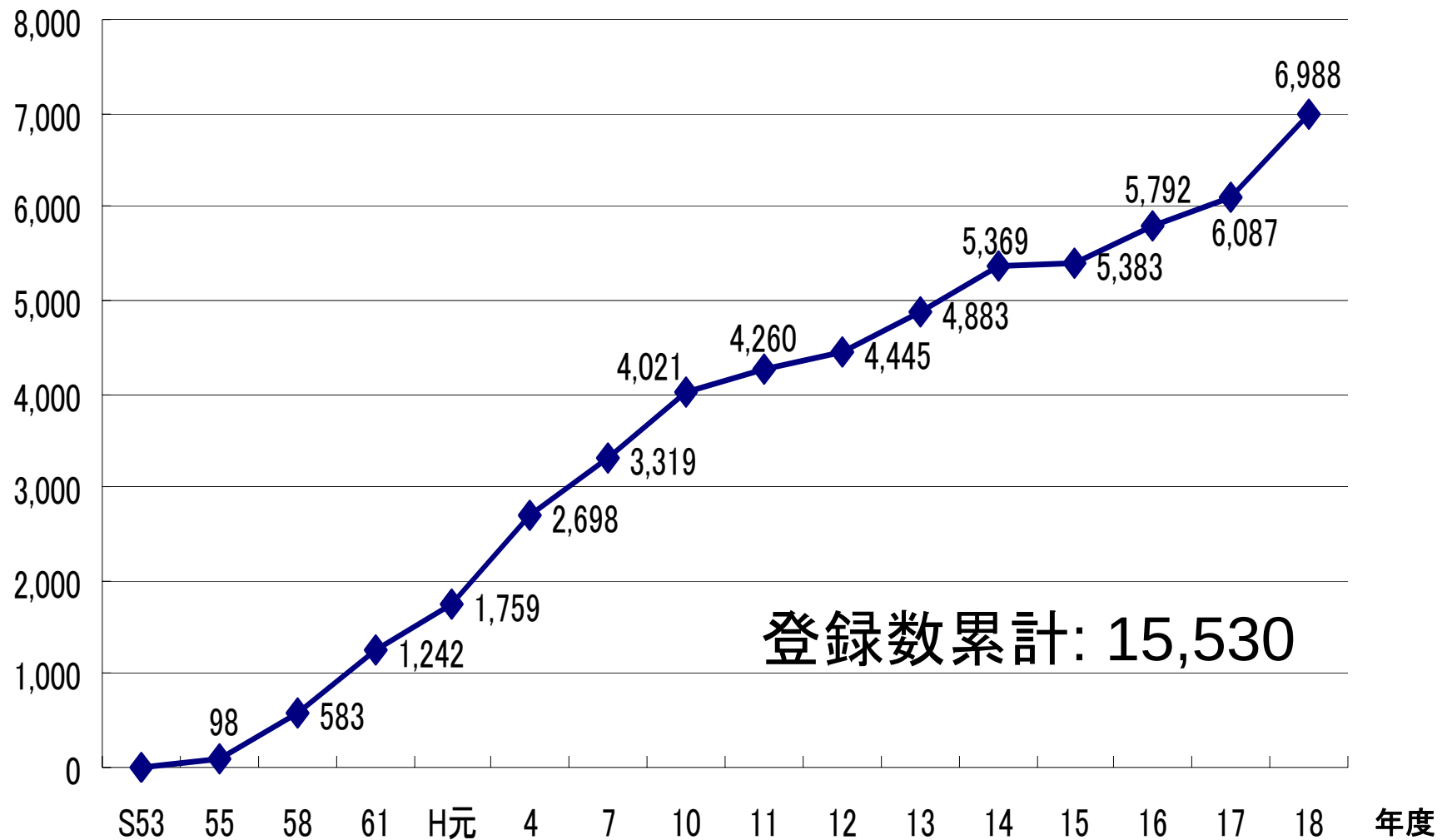
【年間品種登録出願件数の推移】



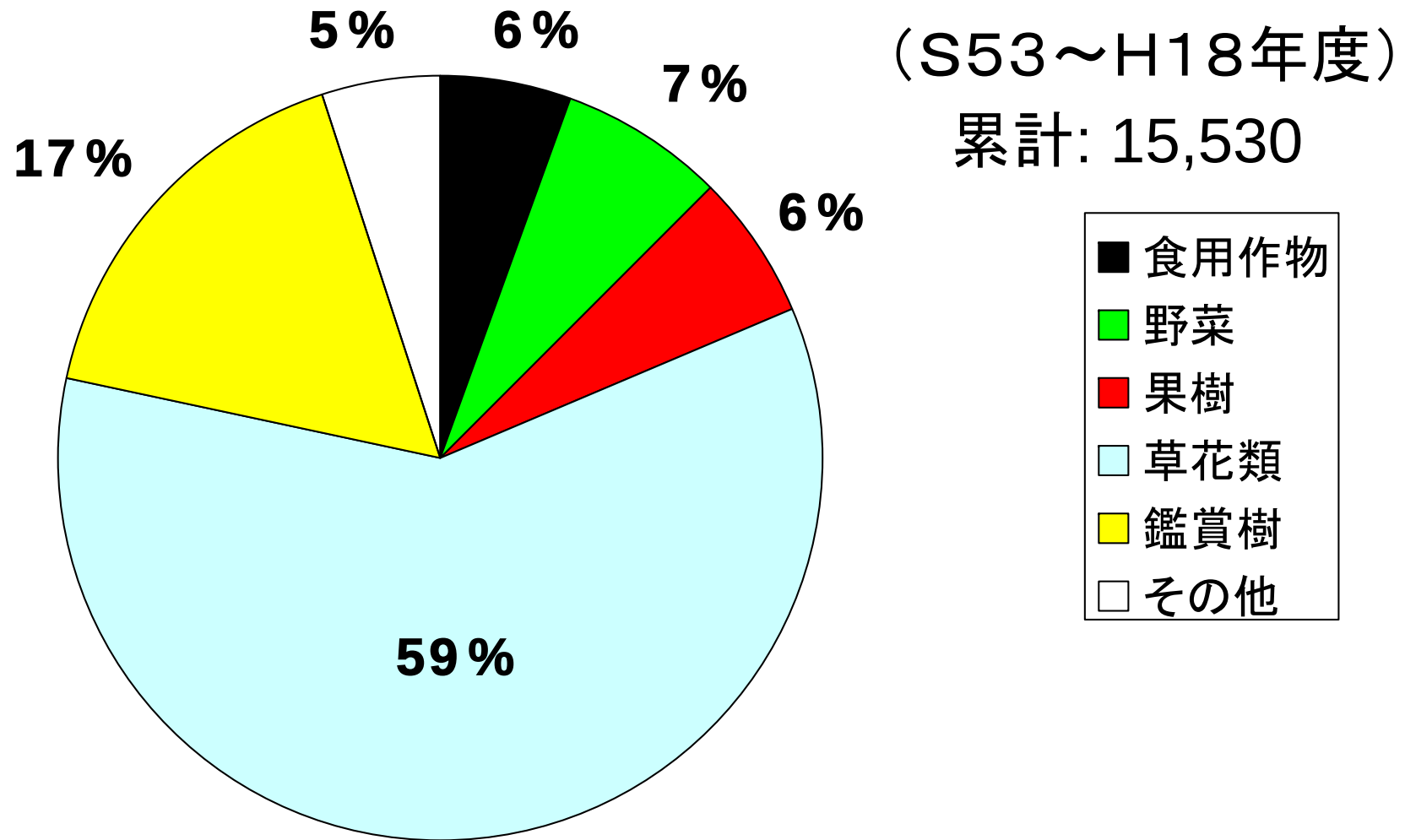
【年間品種登録件数の推移】



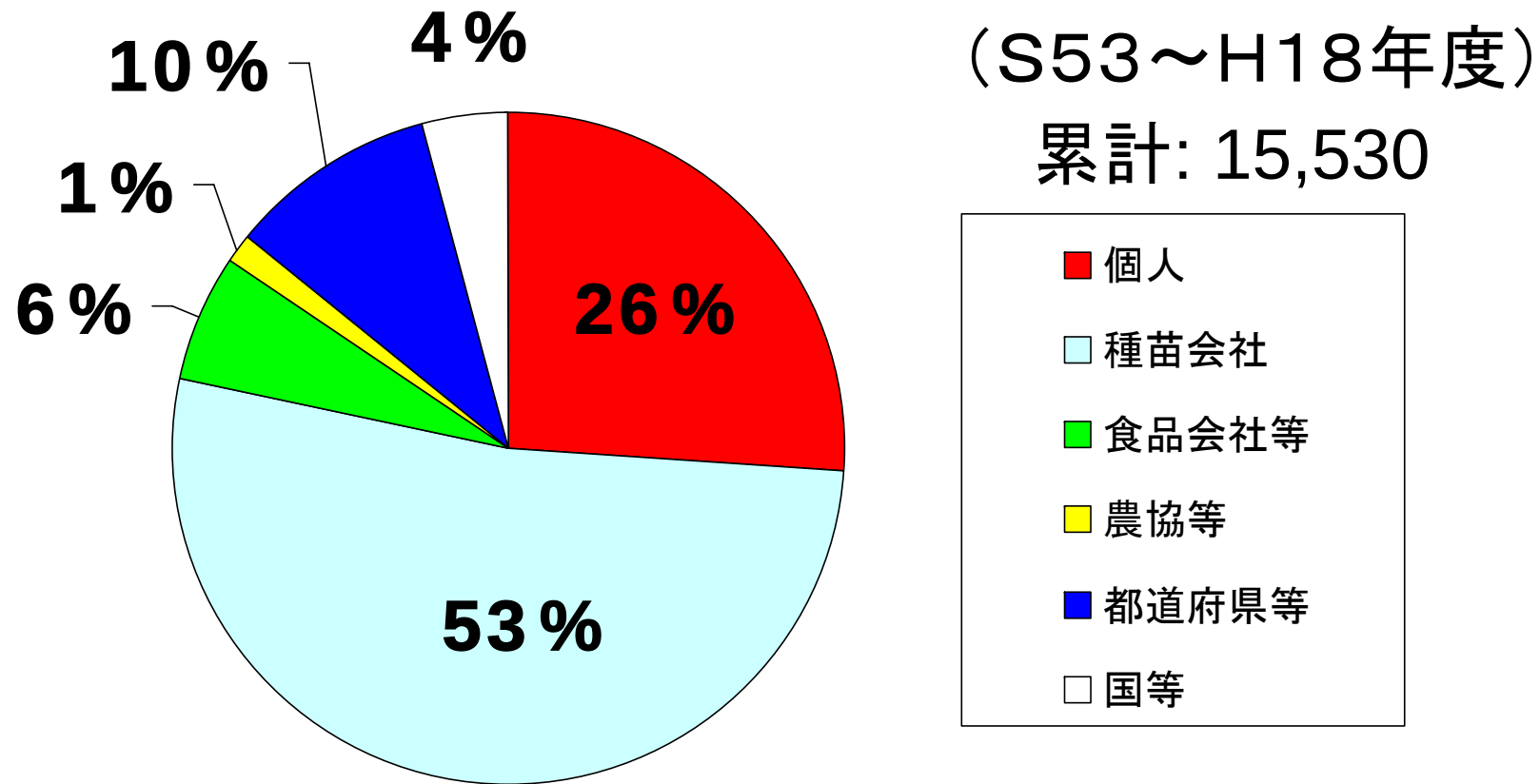
権利存続中の登録品種数の推移(各年度末)



作物分野別の登録割合



出願者の業種別登録状況



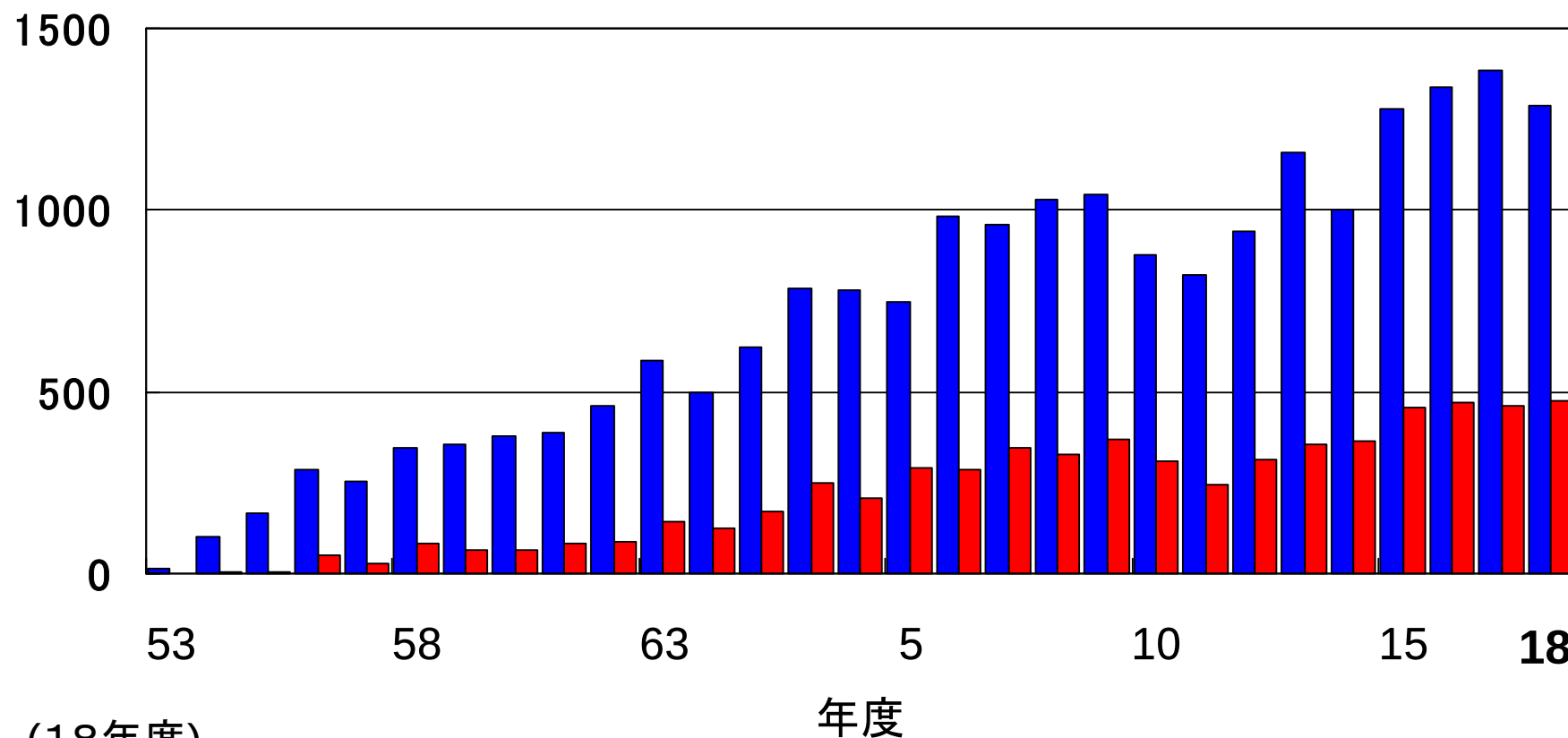
注:①登録件数については、登録時点の区分であり、登録後の業種間の権利移転は反映していない。

②食品会社等には、その他業種を含む。

③都道府県等には、市町村、公立学校を含む。

④国等には、国立学校法人、独立行政法人を含む。

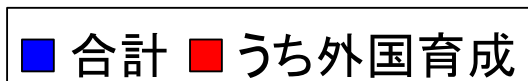
外国育成品種の出願状況



(18年度)

出願合計: 1,290(100%)

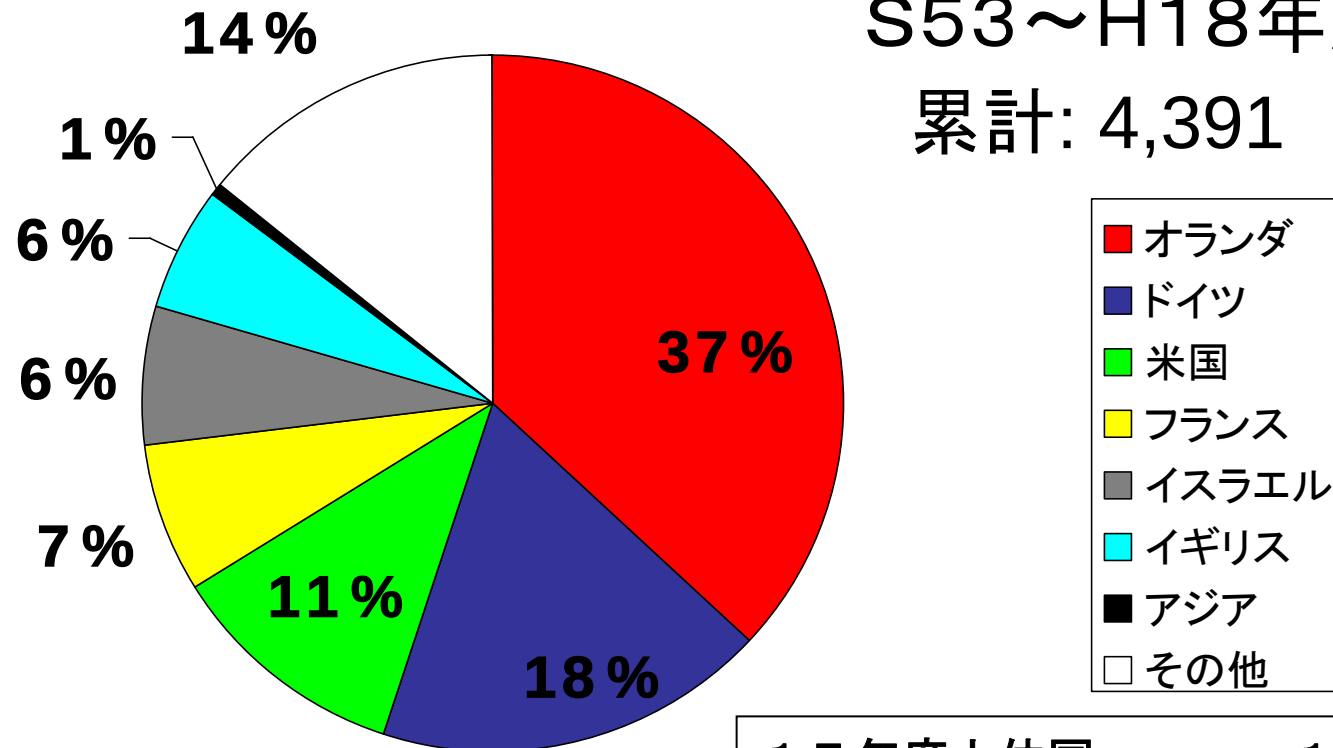
うち外国育成: 474(37%)



外国育成品種の登録状況

S53～H18年度

累計: 4,391



17年度上位国

①オランダ	119
②ドイツ	82
③デンマーク	66
④アメリカ	55
⑤イスラエル	41

総数 463

18年度上位国

①オランダ	142
②ドイツ	75
③イスラエル	46
④アメリカ	30
⑤デンマーク	23

総数 474

UPOV(ユポフ)条約について

正式名称: 植物の新品種の保護に関する国際条約(1968年発効)

内 容: 植物の新品種の保護に関する国際的枠組を規定

- ・締約国は、条約の枠組みに沿って国内制度を整備
- ・91年条約の締約国は、10年以内に全植物を保護対象とする義務

締 約 国: 現在65カ国(EUを含む)

組織体制:

理事会

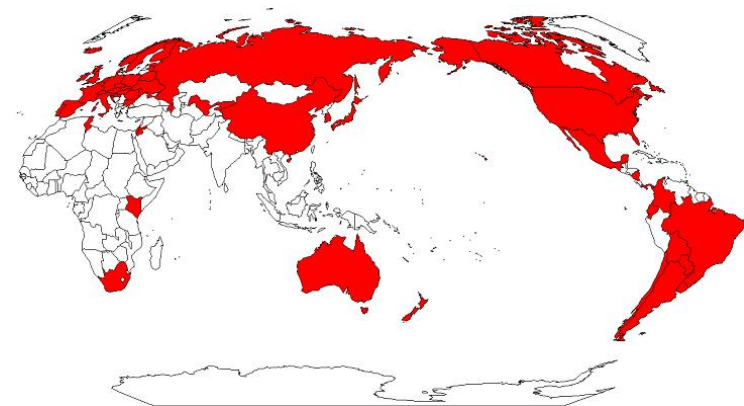
評議会

管理法律委員会

技術委員会

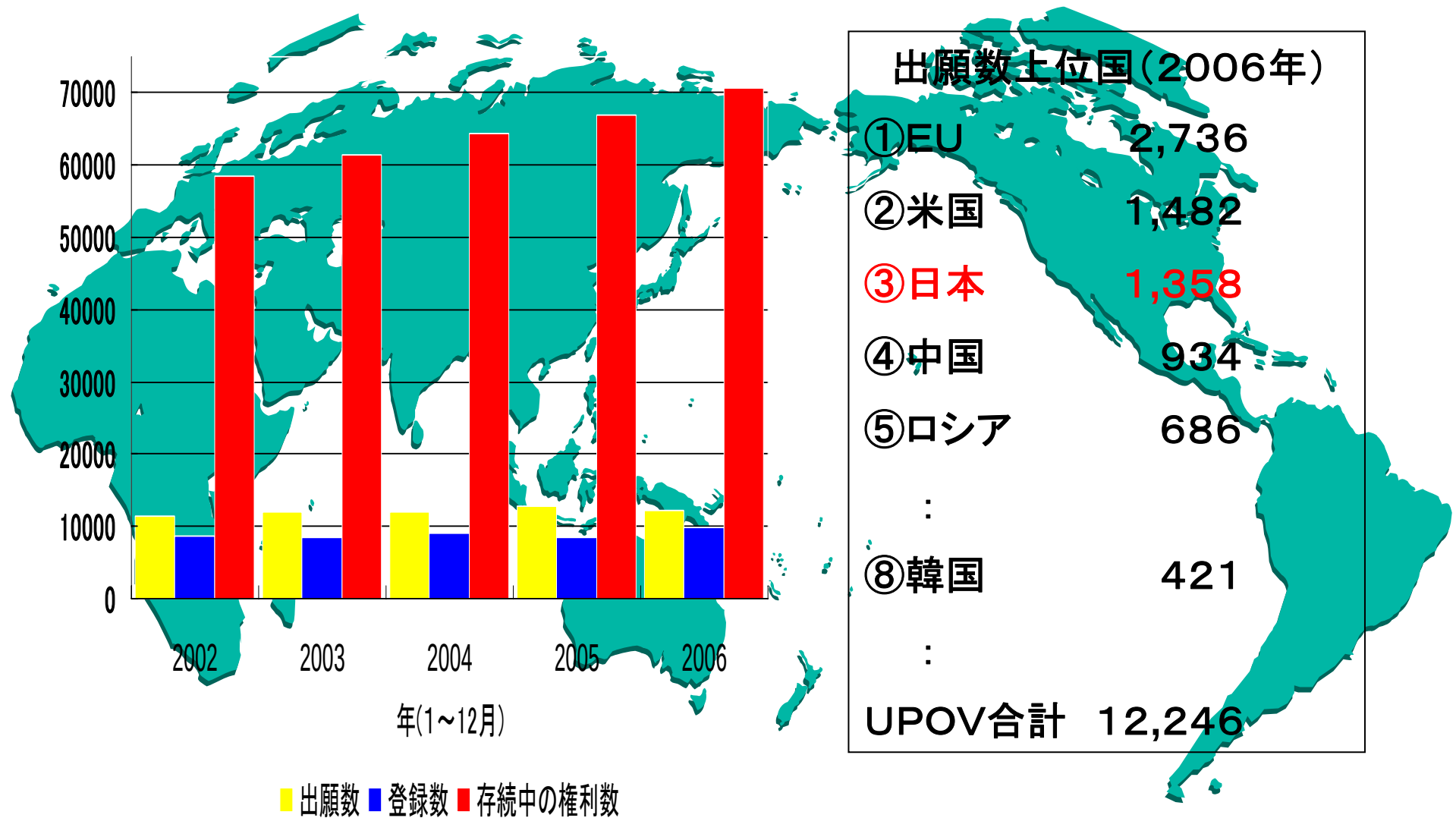
技術作業部会

- ・農作物
- ・果樹
- ・観賞植物及び林木
- ・野菜
- ・コンピュータ及び自動化
- ・生化学及び分子技術



各国の審査官等によりテスト
ガイドラインを検討

UPOV同盟国における出願・登録の状況



アジア主要国の植物新品種保護制度

- ◆ 日本(82年に78年条約を締結、98年に91年条約締結):全植物を保護。
- ◆ 中国、韓国、シンガポール、ベトナム : UPOV条約を締結。
ただし、保護対象植物は限定されている。
 - ・ 中国(99年に78年条約締結) → 保護対象:稲、りんご、かんきつ、菊等 139属種
保護対象外:小豆、いぐさ等
 - ・ 韓国(02年に91年条約締結) → 保護対象:稲、りんご、なし、菊等 189属種
保護対象外:いちご、みかん等
 - ・ シンガポール(04年に91年条約締結)
→ 保護対象:らん類、水生植物、タイサイ等15属種
 - ・ ベトナム(06年に91年条約締結) → 保護対象:稲、トウモロコシ、菊等15属種
- ◆ インドネシア、マレーシア : UPOV条約の締結に向けて、「植物新品種保護制度」の一部修正に取り組んでいる。
- ◆ フィリピン、タイ : UPOV条約は未締結だが、品種保護制度を有する。

注:91年条約締約国は、10年以内に全植物を保護対象とする義務がある。

国際的な審査協力の推進

1. 目的

審査・登録事務の合理化、審査期間の短縮等のため、先願国の栽培試験結果を後願国が利用できるよう、審査基準、栽培試験方法等の調和を図る。

2. 審査協力の実施状況

(1) EU(18年11月に合意)

対象植物: バラ(切り花)、ペチュニア、カリブラコア、キク(スプレータイプ)、バーベナ

今後、カーネーション、カランコエ等順次拡大を検討

実績: 20年1月までに審査報告書を27件購入

(2) ベトナム(19年10月に合意)

対象植物: キク、バラ

実績: 当面は、ベトナムの人材育成、審査基準の作成等に協力

(3) 韓国(19年11月に実質合意)

対象植物: キク、バラ

実績: 審査基準等の調和、審査官の技術交流が済み、20年度中に審査報告書の相互利用を開始する予定

我が国の審査の問題点

1. 我が国は、1982年に16番目のUPOV条約加盟国となり、UPOV条約の考え方に即しつつ**審査基準**を作成してきたものの、**概して細かく定める傾向**
2. 審査基準、審査方法が国際標準と調和していない部分があるため、**各国との審査協力（審査報告書の相互利用）が困難**
3. 独自の審査基準、出願様式等のため、海外の**出願者にとって不便**（日本から海外への出願も同様）
4. 日本がリーダーシップをとれず、**アジア地域の品種保護制度の発展にも支障**

今後の改善方向

1. UPOV標準との整合

- ・審査基準、審査方法等をUPOVテストガイドラインに調和させる
- ・品種名称等の英語表記を可能とする
- ・出願書等の様式をUPOV標準に調和させる
- ・植物名は学名を主として用いる(和名は従)

2. UPOV標準への積極的提案

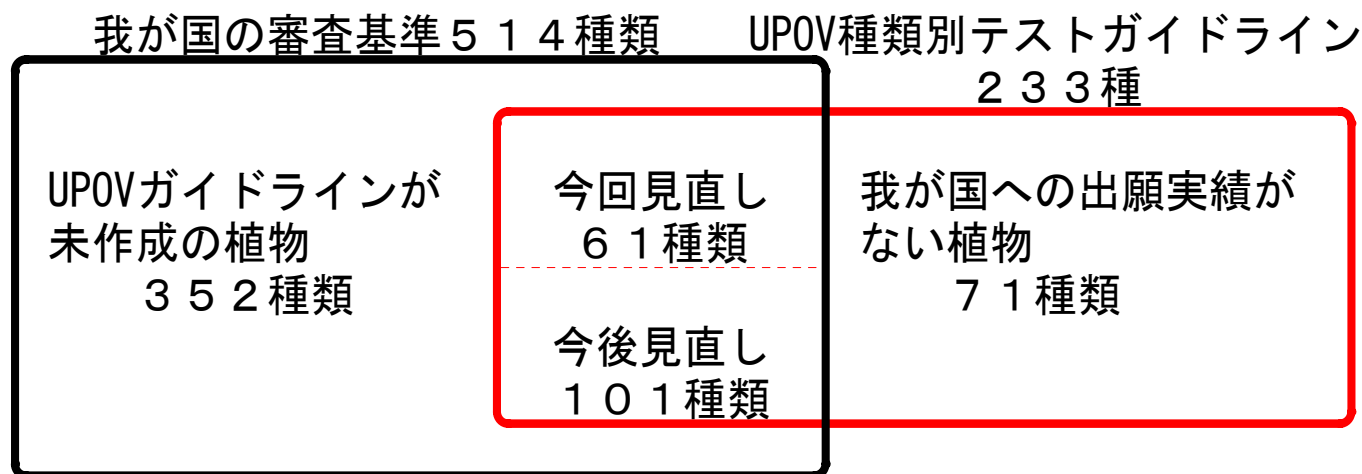
我が国の植物別の審査基準は約530種類あり、UPOV技術作業部会等におけるテストガイドラインの検討に当たって、我が国の審査基準を積極的に提案する。

3. 東アジア地域におけるリーダーシップの発揮

我が国が提唱している「東アジア植物品種保護フォーラム」(第1回を本年7月に開催予定)等の場を活用し、東アジア各国の人材育成、制度の整備、運営の効率化等に貢献

重要な形質の見直しの考え方

1. 審査基準の国際調和を進めるため、原則として、**UPOVテストガイドラインに準拠**して見直す。(今回61種類、今後101種類を順次見直し)
 - ① EU等との審査協力に当たって、UPOVテストガイドラインにない形質の追加を調整する。
 - ② 病虫害抵抗性等、国によって重要性の異なる形質等については、実態に即して追加する。
2. UPOVテストガイドラインが未だ作成されていない植物(352種類)については、**UPOVの「特性審査のための一般指針」に沿って見直し、UPOV技術作業部会に審査基準を提案していく。**



(H19年3月末現在)

重要な形質の見直し方法

＜従来＞：UP0Vテストガイドラインとの細部形質のズレ
告示と局長決裁の二重構造

（例：バーベナの葉に関する形質）

重要な形質 （告示）	審査基準で具体化 （局長決裁）
葉形	①葉身の形 ②切れ込みの有無 ③切れ込みの程度 ④葉縁の形（切れ込みのないものに限る）
葉の大きさ	⑤葉長 ⑥葉幅
葉色	⑦葉身表面の色
葉の毛の多少	⑧葉の毛の多少
	⑨葉柄の有無
葉柄の太さ	⑩葉柄の太さ
葉柄の長さ	⑪葉柄の長さ

UP0Vテストガイドライン
①葉身の長さ ②葉身の幅 ③葉身の形 ④葉身の切れ込みの有無 ⑤葉身の切れ込みの型 ⑥葉身の周縁部の形 ⑦葉身の表面の色 ⑧葉身の表面のアントシアニンの着色の有無 ⑨葉身のアントシアニンの着色の強弱 ⑩葉柄の長さ

＜見直し後＞ UP0Vテストガイドラインに準拠しつつ、従来の審査基準の細部形質を見直し、新たな「重要な形質」として告示する。
→審査基準（局長決裁）に、栽培方法や形質の調査方法等を定める。

バーベナの新たな審査基準(一部抜粋)

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV形質	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1 (*)	PQG	草姿	Plant : growth habit	茎の伸び方と株全体の草型	観察	1 2 3	直立 斜上 匍匐	upright semi-upright creeping	Sunvivapa Sunmariba Sunmaririh Sunvop	
2	2 (*)	QN	株の幅	Plant : width just after the start of flowering	開花始期の株の直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Kieversil Sunver Sunvop Wynena	
3	3 (*)	QL	茎のアントシアニンの着色の有無	Stem : anthocyanin coloration (on middle third of actively growing stem)	生育盛期の茎中間部 3 分の 1 のアントシアニンの着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present	Sunmaririh Wynena	
4	4 (*)	QN	葉身の長さ	Leaf blade : length	葉身の長さ (主な 1 次分枝の最大葉、以下同様)	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Sunvop Sunmaribisu Scarlana	
5	5 (*)	QN	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の幅	測定 cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	Sunmaribisu Wynena	
6	6 (*)	PQ	葉身の形	Leaf blade : shape	葉身の形	観察	1 2 3 4 5	披針形 狭楕円形 楕円形 卵形 広卵形	lanceolate narrow elliptic elliptic ovate broad ovate	Wesverdank Kieversil Lan Pureye	

G : グループ分けに使用する形質、* : 必須形質、QL : 質的形質、QN : 量的形質、PQ : 疑似の質的形質、+ : 説明図あり

形質 番号	UP OV 形質	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14 (*)	QN	花序の直径	Inflorescence : diameter	開花盛期の花序の直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Blancena Scarlana	
15	15 (*)	PQ (+)	花序の形	Inflorescence : shape in profile	側面から見た開花中の花で形成されている花序の形	観察	1 2 3 4	広卵形 倒広卵形 広円筒形 狭円筒形	broad ovate broad obovate broad cylindrical narrow cylindrical	Wynena Sunmarisu Verbena hastata	
16			花らいの色	Flowerbud:colour (just before opening)	開花直前の花らいの色	測定		RHSカラーチャートによる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
17		G	花型	Flower:type	一重八重の別	観察	1 2	一重 八重	single double		
18	16 (*)	QN (+)	花冠裂片の重なり	Flower : arrangement of corolla lobes	花冠裂片の重なり	観察	1 2 3	離れる 接する 重なる	free touching overlapping	Scarlana Sunmarisu Blancena	
19	17 (*)	QN	花冠の直径	Flower : diameter of corolla	花冠の直径	測定 mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Sunvop Blancena Sunmarisu Scarlana	
20	18 (*)	QL	がくのアントシアニン着色の有無	Calyx : anthocyanin coloration	がくのアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present	Kieversil Lobena Scarlana	

赤枠部分の形質は、UPOVには無いがEUとの調整の上、加えたもの。

形質 番号	UPOV 形質	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	31 (*)	PQ	花冠の目の色	Corolla : colour of eye	花冠の目の色	観察	1 2 3 4 5	緑白 黄緑 ピンク 赤 紫	whitish green green yellow pink red purple	Survivaripi Balazlavi Vertis Balazpima QuHa237V Balazdapi	
34	32	QN	花冠の色の変化	Corolla : change of colour with age	花冠展開後の花色の時間経過による変化	観察	1 2 3 4 5	かなり薄くなる やや薄くなる 無変化 やや濃くなる かなり濃くなる る	strongly fading weakly fading no change weakly intensifying strongly intensifying	Blancena Lobena	

形質数は、現行の53を34(UPOV形質32+EUとの調整2)に整理